

2022

隣保館だより

12月号



NO. 353

発行・編集

鹿沼市隣保館

鹿沼市万町 931-1

Tel.0289-64-4776



ストップ！コロナ差別

コロナ対策のつもりが過剰な反応になっていませんか？

思い込みが差別や偏見を生みます。正しい知識・情報に基づいて行動しましょう。

CASE 1 医療従事者やその家族への差別や偏見

～医療従事者やエッセンシャルワーカーに感謝やエールを～

医療従事者やその家族に対する、必要なサービスの提供拒否、行事への参加拒否など様々な問題のある事例が全国で起こっています。また、社会生活の維持に欠かせない業務に携わる人々への差別の事例も多く発生しています。医療従事者やエッセンシャルワーカーに感謝の気持ちを持って接し、むしろエールを送りましょう。

CASE 2 感染者とその家族への差別や偏見

～感染者とその家族に思いやりを～

感染者や濃厚接触者を過剰に避けたり非難したりする差別や偏見が生まれています。中にはプライバシーなどの人権を侵害しかねない事例も見られます。ウイルスには気を付けても誰でも感染する可能性があります。相手の立場に立って、正しい知識をもとに、感染者とその家族に思いやりを持って接しましょう。

CASE 3 思い込み、過剰な反応による差別や偏見

～正しい情報を確認し、冷静な対応を～

特定の症状というだけで感染を決めつけてしまったり、あるいは、感染者と同じ大学、同じ地域の居住者というだけで差別・偏見の対象となることがあります。CASE1 や CASE2 でもそうですが、思い込みを避けて正しい情報を確認し、科学的根拠の乏しい過剰な反応は控え、冷静に行動するようにしましょう。

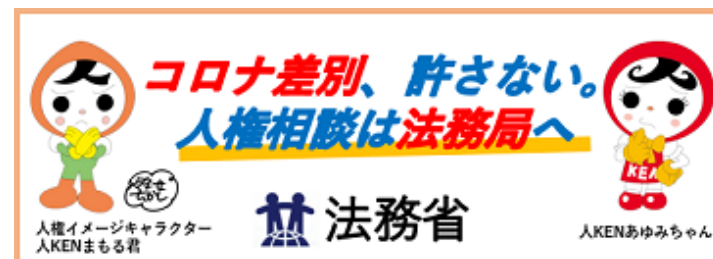
CASE 4 コロナワクチンの接種を受けていない人への差別や偏見

～それぞれの事情に対する配慮を～

新型コロナワクチンの接種は強制ではありません。病気など様々な事情で接種を受けることができない人、受けることに注意が必要な人がいます。接種を受けていないことを理由に差別的な扱いを受けたという相談も多く寄せられています。それぞれの事情に配慮した感染対策を考えましょう。

今なお、みんなが不安に包まれやすい状況が続いています。自分の言葉や行動が差別や偏見につながっていないか、「誰か」のことではなく「自分のこと」として、改めて考えてみる事が大切です。悪意がない言動が人権侵害につながることもあります。

(裏面につづく)



また、新型コロナワクチンの接種が進む中、接種を受けていない人に対する差別や偏見も生まれています。これは許されるものではありません。

正しい知識と情報をもとに行動しましょう。それが、新型コロナウイルス感染症から、自分を、家族を、みんなを守ることに繋がります。(法務省・全国人権擁護委員連合会作成リーフレット参考)

みんなの人権 110 番 Tel0570-003-110 (平日 8:30~17:15)

人気スポット紹介「夢の樹」



東武新鹿沼駅東口に鎮座する「夢の樹」。岡本太郎氏が1984年に制作したパブリックアート（公共空間に設置された芸術作品）。生誕100周年を機に2012年、新鹿沼駅前に移設。宇宙に向かって樹が、人間が、そして生命力が開くことをイメージしたそうです。ふるさと鹿沼の豊かな緑のシンボルです。

『大正琴を聴いて歌おう』

11月10日、高齢者ふれあい事業「大正琴を聴いて歌おう」を11名の参加により開催しました。

今回は、コロナウイルス感染防止対策として、演奏に合わせて歌声を出さずに、心の中で歌うことにしました。

ふみの会大正琴の代表 柴田文子先生と教え子4名が、「四季の歌」や「瀬戸の花嫁」など、懐かしの曲の数々を演奏しました。

参加した皆さんは、郷愁漂う大正琴の美しい音色にうっとり酔いしていました。

